

陳情第140号	受理年月日	令和5年3月9日
付託委員会	保健福祉委員会	
件名	市で発生している超過死亡の異常な激増に対する早急な分析と対策について	
要旨	<p>令和5年1月の北九州市の死亡者数は、1,629人と発表された。事実として、例年のない大災害級の超過死亡を記録している(2017年～2021年1月は1,000人程度)。また、令和4年2月、8月及び9月は、突出して超過死亡数が激増した。市では、この原因について分析しているのか。</p> <p>また、超過死亡だけでなく、救急の出動回数も激増している(2022年は前年比6,407件増加)。</p> <p>何が起きているのか。私たちの会では、1つの仮説として、新型コロナウイルスワクチン接種による影響ではないかと考えている。なぜなら、接種時期と重なっており、mRNAワクチンの技術には、ありとあらゆるリスクがあると、多くの学者が警鐘を鳴らしていたからである。リスクは、従来のワクチンの比ではない。ワクチン粒子が、どの細胞に取り込まれて偽ウイルスを産生するか、その継続期間や量によっても血栓、臓器の炎症、神経の損傷など未知数であり、全身のどこで異変が起きてもおかしくないからである。</p> <p>もし、違う理由であるなら、不衛生なマスク着用と長時間着用の弊害、常在菌さえも殺菌する過剰なアルコール消毒、断絶した人との交流、特に介護施設や病院での面会制限による活力低下、外出控え、運動不足など、過剰な感染予防対策による免疫低下を視野に入れることも必要と考える。ただし、これらは、一時的な死亡者急増の原因とは考えにくいですが、死亡に至る体調悪化の一因としては、あり得る話だと思う。</p> <p>新型コロナウイルスの終息のためとはいえ、やり過ぎれば逆効果にならないか、検証も必要である。</p> <p>については、これ以上、不可解な死亡者数を増加させないためにも、検証と分析、対策に取り組むよう強く要望する。</p>	